



12th レディースチャレンジカップ LADIES CHALLENGE CUP 11/25(土) 26(日) 27(祝) 28(月) 29(火) 30(水)

ドリーム戦・11月25日(火) 初日/第11レース

出場選手

[選出順位順]

データの見方

2025年獲得賞金額(10月31日現在)。選手名の上は登録番号、右は級別・支部・年齢(初日現在)

全国 最近6ヶ月

(2025年5月1日~10月31日)の全国勝率

福岡 最近3年(2022年11月1日~2025年11月2日)の福岡勝率

選出基準

2025年1月1日~10月31日の女子賞金上位21名



12th レディースチャレンジカップ LADIES CHALLENGE CUP 総展望

主役は女子賞金ランキングトップの**遠藤エミ**！



年末に大村で開催されるクイーンズCに出場する12名を決める最後の大会。今年もここまで女子賞金ランクのトップを独走しているのは、絶対女王・遠藤エミ(滋賀)だ。昨年はSGチャレンジCに出場したが、今年はレディースCCの主役として参戦する。当大会は通算4度のV実績があり、21年からは4年連続賞金トップでクイーンズCに出場中。女子唯一のSG覇者が、今大会も格上の走りを披露し年末まで突っ走る。

クイーンズCのトライアル1号艇の2枠のうち、1枠は遠藤でほぼ決まりの状況。残る1枠は浜名湖スピードクイーンメモリアルを制した平高奈菜(香川)と、今年V4と快調な走りを見せている守屋美穂(岡

山)の一騎打ちが有力だ。ただ、浜名湖レディースCで女子特別戦初Vを飾って現在5位につけている鎌倉涼(大阪)に、渡邊優美(福岡)と川野芽唯(福岡)の地元コンビも優勝すれば大逆転でのトライアル1号艇の可能性がある。

チャレンジCとは違って、レディースCCで優勝してボーダーラインの下からクイーンズCに出場したのは20年の寺田千恵(岡山)のみ。ボーダーライン以下の選手にとっては狭き門だが、現在13位でも地の利がある小野生奈(福岡)ならば、その門をぶち破っても不思議ではない地力がある。